

特別賞

静岡県 袋井土木事務所

東遠広域都市計画道路 3・5・21号
下俣二瀬川線 沿道整備街路事業



都市名	掛川市	事業主体	静岡県
事業概要			
<p>下俣二瀬川線は、市街地化された掛川市中西部における延長約2.1kmの南北幹線道路である。このうち、国道1号との交差点北の210mにおいては道路幅が7mと狭いことによる慢性的な渋滞、未整備の歩道、比較的古い木造住宅が連担することによる防災・生活環境対策、未利用かつ不整形のまま残されている旧廃川敷など課題が多い地区であった。</p> <p>このため、沿道周辺の地域住民へのアンケート結果に基づいて多様なニーズに柔軟に応え、課題を一括解決するため、敷地レベルの土地整理事業施行地区が設定できる沿道整備街路事業の導入を県下で初めて採用したものである。</p> <p>これにより慢性的な渋滞の解消と沿道における旧廃川敷を含めた土地の有効活用が図られ、良好な市街地形成が図られたものである。</p>			
<p>○事業延長：210m ○事業費：約5億6,000万円（第1工区：2億1,000万円、第2工区：3億5,000万円）</p> <p>○幅員：17m ○事業期間：平成16年度～平成24年度</p>			
表彰理由			
<p>本事業により、主要国道の慢性的な渋滞の緩和や通行の安全性が確保されたほか、整備にあたり、都市計画の制度を活用し、旧河川敷の土地利用を図り、道路と老朽化した家屋を一体的に整備することで、地域のコミュニティーを守りつつ、防災機能を向上させたことなどが評価された。</p>			

